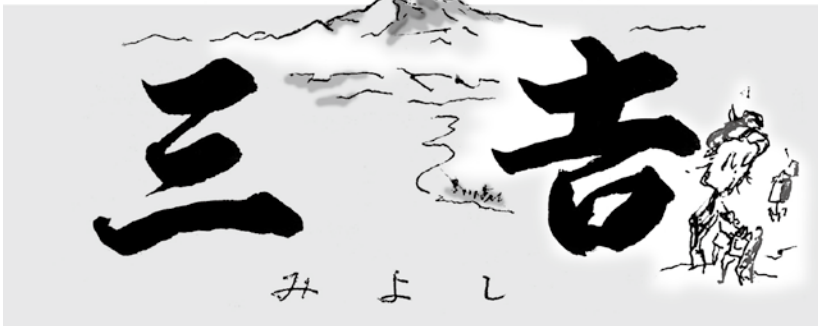




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

春の境内

宮司 田村 泰教

世界各地で過激な宗教思想によるテロが相次いでいる。国内にいる限り何か遠い世界の出来事のように思えるが、何の関わりもない邦人が犠牲となっている重い現実がある。▽異質な文明や信仰を冒涇するよう^{ぽろ}な、行き過ぎた表現の自由は決して許されるべきではない。と同時に、どんな宗教においても、人の命をむやみに奪う行為に大義はなく、それをかばう神様は存在しないはずだ。▽神社にお参りして新年を迎え、お盆には祖先供養でお寺に墓参り、そして年末には年中行事として定着したクリスマス・・・・いかにも日本的で曖昧な信仰形態は、一宗教を崇拜する人々には理解しがたいものだろう。▽しかし、我が国では古の昔から道ばたの草木にも命を見出し、^{やおよろず}八百万と呼ばれる多くの神様をまつり手を合わせてきた。日本の神さんは万能・絶対的なものではなく、より人間的で親しみのある存在。神々同志が、また神と人とが共存し、大らかに寛容な宗教心を持つ国柄を大切にしたいものだ。

行事日程表

五月七日(木) 午後六時

宵宮祭

春季例大祭

五月八日(金) 午前十一時

当日祭

地元シリーズ ④9

神社参拝旅行に参加して

(三月九日～十二日)

三吉節保存会
事務局 長 関 山 尚 三

沢山思い が出、出来、大変有意義で楽しかった今回の旅行。隣接の「古代出雲歴史館」を見学。境内遺跡から出土した、巨大な柱・古代本殿の模型、弥生時代の銅剣・銅矛・銅鐸など四一九点が展示されており、古代人の技術の凄さに感動です。そこから、「世界遺産石見銀山」に移動し見学。

三日目、バスガイドさんの案内で、「広島平和公園」を見学。車中でガイドさんから「原爆の子」像の（被爆して何年もして発症し亡くなった少女）話を聞きました。その像の前で手を合わせたとき涙が出ました。原爆記念館では生々しい遺品などを見て、そのときの惨状を思うと、胸が締め付けられました。世界平和を祈らずにはいられませんでした。

二日目、「八重垣神社」で正式参拝、約千百年前に描かれた国重要文化財の壁画を鑑賞。次は「出雲大社正式参拝」です。巨大な鳥居や大注連縄、壮大な社殿



足立美術館

せん。

次に船で「厳島神社」へ向かいました。空と海はあくまで碧く、海に建つ朱の大鳥居が背後の厳島神社や緑の山と絶妙なコントラストを醸し絶景です。下船して程なく「厳島神社」に着き、正式参拝しました。回廊の白壁と朱塗りの柱が陽光に美しく映え、昔の人の建築技術と美意識に驚嘆です。

「錦帯橋」へ移動、清流岩国川に架かる美しい橋です。対岸の山には岩国城が見えました。

四日目、NHK「花燃ゆ」の場所、萩市にある「松下村塾と

松蔭神社」へお参りしました。明治維新に活躍した俊才を輩出した塾を見て、感慨深かったです。次に、鍾乳洞「秋芳洞」へ行き洞内に入り、百枚皿など神秘的な奇観を見ました。「秋吉台」の広大なカルスト台地の景勝を見てから、関門海峡を渡り福岡空港に至り、空路秋田へ無事帰着しました。

宮司様、神社の皆様、旅行社様、参加者の皆様、大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。有難うございました。



出雲大社

言挙げ 53

台湾に遺る神社跡を訪ねて

権欄宜 和田 恵梨子



日本の敗戦によって、当時統治政策の象徴と見られていた神社（かつての朝鮮、満洲、シベリアなど）が相次いで破壊されました。しかし親日国である台湾には、国民党や民衆の手による破壊から免れた神社（跡）が多数存在します。

歴史的建築物にする動きが起きている。長期にわたる戒厳令の解除と、台湾の人々が自分達の歴史を客観的に見ようという動きが影響しているのかも知れません。現在では神社の機能を果たしているものは一つもありませんが、こうした動きによってかつての神社の痕跡を見ることができます。

日本の統治とともに台湾に神社が立てられ、五十年間に二百座近い神社が台湾各地に建立されました。当時日本人が建立した神社には、さまざまな動機や背景がありました。国家神道を目的として建立された台湾神宮（現・ホテル圓山大飯店）や、各地域を守護する役割を果たした嘉義神社（下記参照）などがあります。また民間人や入植者が築いた神社も台湾全土に数多く建立されました。

台湾では最近になり、かつての神社跡地や遺跡をその都市の

ここからは、私が学生時代に卒業論文の一環として調べた神社（跡）、またそののち趣味で訪れた神社跡の中からおすすめめの場所をいくつか紹介したいと思います。

になりました。

その② 台東神社 台鉄旧台東駅から徒歩五分 明治四十四年建立

鯉魚山公園の高台のため、台東市を見渡せます。御祭神は能久親王・大国魂命・大己貴命・少彦名命。戦後は中華民国陸軍の駐屯地となり、現在では忠烈祠と公園になっています。公園内には、ペンキで色を塗られた燈籠などが残っています。

その③ 通霄神社 台鉄通霄駅から徒歩十五分 昭和十二年建立

海を眺めながら虎頭山を登っていくと、神社跡地にたどり着きます。御祭神は能久親王、天照皇大神。戦後は忠烈祠となりました。現在では本殿と拝殿、鳥居、参道、石燈籠、ペンキで塗られた社務所が残っています。

その④ 黄金神社 台北発金瓜石行きバスの終点より徒歩十分 明治三十一年建立

金坑で栄えた金瓜石に建立。山の中腹にあるため、見事な眺望です。御祭神は大国主命、金山彦命、猿田彦命。現在では鳥居、半壊した燈籠が一部残っています。柱のみ残った拝殿はギリシアのパルテノン神殿のようです。十年前は訪れる人もまばらでしたが、有名な観光地九份からも

ほど近く、最近ではこの辺り一帯が観光地化されて賑いをみせています。



その③ 通霄神社（平成19年訪問）



その④ 黄金神社（平成23年職員旅行にて）

神武館だより

水戸大会報告

父母会代表

駒 場 富美子



3月29日(日)水戸市青柳公園市民体育館にて第56回全国選抜少年剣道錬成大会が開催され、予選を勝ち上がった高学年チームが出場しました。

今回は高学年1チームであり5年生の鎌田くんが3月20日に名古屋へ引越されたため水戸市内で合流する予定にしました。選手5名、菅野先生、保護者5名の一行は28日(土)、早朝にいらしてくださった先輩方に見送られマイクロバスにて出発しました。



秋田自動車道―東北自動車道より3月1日開通したばかりの常磐自動車道を通過しました。開通したばかりの常磐道は福島第一原発の周辺を走るため途中に放射線量の測定表示機器があり、福島に近づくにつれ道路から除染作業途中の作業員の方、居住していない家屋や、手入れがされることもない荒れた田畑などが見えてきました。

震災からすでに4年の年月が経っていますがまだそこには復興とは遠い現実がありました。

はじめははしゃいでいた子供たちもその光景には静かになり、皆元気で当たり前のよう大会へ迎えるありがたさを感じているようでした。

バスは順調に走り昼前には水戸市に到着。無事鎌田くんと合流し昼食。その後錬成会場の勝田若葉会へ向かいました。当日は秋田の初夏を思わせる気温と天気。保護者たちは長時間のバス移動と暑さで少々バテ気味でしたが子供たちは日ごろの鍛錬もあり体調を崩すこともなく錬成に臨みました。

今回は少し早めに錬成を切り上げ、近くの日立国立公園内の遊園地へ散策に向かいました。久々に会えた鎌田くんと楽しい時間を過ごし、その後ホテルに向かい夕食をとりました。大会当日、新しい会場での場所取りに午前3時45分ホテルからタクシーで会場に向かったお父さんたち。

でもやはり前にはその時間でもすでに並んでいる人がいたそうです。長年の経験?とテクニクで観覧席を完璧なポジションで取得。例年の水戸武道館よりは少々ですが会場も広めであり、選手も保護者もゆっくりと観戦できました。

試合目録、第4試合上の13
いいよ試合、第4試合上の13
相手は茨城でも有数の体格も大きい選手が揃った強豪チーム。今年のチームは小柄のメンバーも多いのですが負けじと先鋒から全力で相手に向かって行きます。



がしかし、全国の壁は高く、選手たちも自分のできる精一杯を最後の試合で出すことができませんでした。残念ながら1回戦を突破することはできませんでした。

試合に負けてしまったことは悔しく残念でしたが、選手たちも父兄も小学生最後に精一杯の戦いができていたと感動できました。今回出場した選手たちは水戸大会に出場するのが2回以上のメンバーでした。

そのため会場や様々な条件が例年と違って問題なく対応できたのは他の保護者や選手、先生と繋がりがチームワークがよく、結果できていたからだと思います。出場にあたり、いつも応援してくださる後援会の皆様、神社関係者の方々に本当に感謝申し上げます。

既に日常の一部となっていて遠征がこれ最後かと思うと寂しい限りですが、遠くにいても近くにいても剣道で繋がった仲間を大切にこれから選手たちの活躍を願いたいと思います。

初詣・三吉神社

白井道隆

忌竹で払ふ社の煤払い

年の瀬やお飾り作りに励む巫女

形代に喜寿の穢れを流しけり

大祓式玉串奉てん賜るる

元日の二階で拝す太平山

太平山染めて初日の昇りけり

喜寿過ぎし傘寿の余生年新た

一歩ずつ足踏みて待つ初社

一歩出づ二歩目は長し初参り

初みくじところ狭しと結び簞

初みくじ見せ合ひ結び留学生

鏑矢の風切る音や初詣

鏑矢の邪気を払ふ風の音

孫の振る破魔矢の鈴音連れ帰る

傘寿へと歩む決意の初日記

神域の守らる団地注連飾

賜はりし三吉神社の延寿屠蘇

出雲大社へ平成の大遷宮奉祝へ参拝旅行のご報告

去る三月九日より三泊四日で、昨年の「伊勢の神宮参宮旅行」に続く「出雲大社参拝旅行」を開催いたしました。お陰さまで、定員いっぱい四十名での旅行となりました。

初日、飛行機を乗り継ぎ鳥取県の米子空港へ。天気はあいにくの雨。空港からは観光バスにて島根県の安来市演芸館に移動し、安来市を鑑賞。鑑賞後には、代表二名が安来市を体験いたしました。その後は、ミシュラン三ツ星庭園の足立美術館を鑑賞。懇親会には、八重垣神社の佐草敏邦様、出雲大社の平岡邦彦様にご臨席戴き、大変楽しいひと時となりました。

二日目は雪が降りしきる中、八重垣神社へ。出雲大社を正式参拝。久しぶりの冬の寒い寒さに凍えながらも、清々さと歴史の重みが入り混じった空気を肌で感じ、身が引き締まる思いでした。昼食の後には、世界遺産である石見銀山の町並みを散策致しました。

三日目、広島平和公園（原爆ドーム・資料館）を見学の後、フェリーで宮島に渡り厳島神社を正式参拝。宮司様をはじめ、神職の方々のお付添いのもと、神社の歴史・造りをご説明いただきました。また、私たちが見えなくなるまでお見送りいただいたことに一同非常に感激いたしました。参拝後には、宮島を散策。お土産も忘れずに沢山買いました。その他日本三犬奇橋に数えられる錦帯橋を渡り、テレビで紹介されたソフトクリームを食べるなど、久々の晴天に皆様リラックスしておりました。

最終日は松陰神社の参拝、境内に現存する松下村塾・松陰幽囚の旧宅などを見学。また、日本最大規模の鍾乳洞である秋芳洞、日本最大のカルスト台地である秋吉台にも足を運び、無事に旅行の全日程を終了いたしました。

今回の参拝旅行は三泊四日の限られた時間の中で、出雲大社を中心に中国地方を参拝・観光いたしました。ハードスケジュールではありましたが、事故や災いなく充実した旅行でした。ご参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした。

権欄宜 上村 治弘



厳島神社

平成 27 年三吉梵天祭奉納団体ご芳名

お心こもるご奉納に厚く御礼申し上げます。

(株) 秋 田 銀 行
(株) T T K 秋 田 支 社
秋田大学大学院工学資源学研究所有志
(社) 秋 田 育 明 会
広 面 地 区 体 育 協 会
広 面 商 工 振 興 会
赤 沼 町 内 会
田 中 梵 天 保 存 会
広 面 町 内 会
濁 川 梵 天 有 志 会
桜 有 志 会
泉 梵 天 奉 納 会
土 崎 港 有 志 会
蛇 野・西 町・大 沢 町 内 会
蛇 野 町 内 会
神 田 有 志 会
(有) エ イ ド
N T T 東 日 本 秋 田 グ ル ー プ
東 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 秋 田 保 線 技 術 セ ン タ ー
下 北 手 振 興 会
三 吉 剣 道 ス ポ ー ツ 少 年 団
東 部 瓦 斯 (株) 秋 田 支 社

大 吉 食 堂
(社) 新 成 会 老 人 保 健 施 設 友 愛 の 郷
特 別 老 人 ホ ー ム 新 成 園
社 会 福 祉 法 人 こ ば と 保 育 園
こ ば と 学 童 保 育 ク ラ ブ
水 口 町 内 有 志 会
ボー イ ス カ ウ ト 秋 田 第 33 団
梶 ノ 目 町 内 会
赤 沼 子 供 会 会
柳 田 子 供 会 会
谷 内 佐 渡 若 葉 子 供 会 会
大 巻 子 供 会 会
神 武 館 三 吉 道 場
神 武 館 田 村 道 場
旭 川 幼 稚 園
サ ン ク ス 秋 田 広 面 北 店 会
蛇 野 若 竹 子 供 会 会
全 農 物 流 (株) 秋 田 支 店
(有) 斎 藤 昭 一 商 店
ひ ろ お も て エ コ ク ラ ブ
レ ス リ ン グ 北 志 館 道 場
(株) 石 川 建 設

進 藤 義 声 秋 田 県 文 化 功 労 賞 受 賞 記 念 梵 天
(株) 北 都 銀 行
ユ ア テ ッ ク グ ル ー プ
(株) ユ ア テ ッ ク 秋 田 支 社
東 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 秋 田 支 社 秋 田 駅
学 校 法 人 伊 藤 学 園
(公 財) 秋 田 県 綜 合 保 健 事 業 団
ボー イ ス カ ウ ト 秋 田 第 57 団
秋 田 市 立 広 面 小 学 校 3 年 部
柳 田 町 内 会
谷 内 佐 渡 町 内 会
原 田 利 正・ウ タ
梵 天 奉 納 有 志 会
三 吉 節 保 存 会
青 少 年 育 成 秋 田 市 民 会 議
奥 羽 住 宅 産 業 (株)
向 山 有 志 会
空 手 忍 会 総 本 部
高 橋 秀 造 会
神 社 協 力 会
秋 田 韓 国 留 学 生 支 援 会
(順 不 同・敬 称 略)

みよしスケッチ



初詣

松の内期間に十万名のご参拝を頂きました。



巫女説明会 (十月七日)



師走大祓 (大晦日)

一年の罪穢れを祓い清める神事を斎行しました。



斎竹で社殿・境内を祓い清めました。

煤払式 (十一月十三日)



厄年・年祝い

人生の節目のお祝いを随時奉仕いたしております。



梵天祭反省会 (二月六日)



どんと祭 (二月二十五日)

古いお守り・お札などをお焚き上げいたしました。

三吉梵天祭

平成27年1月17日(土)

本年の特殊神事三吉梵天祭は土曜日にあたり、多くの拝観者のもと六十五団体様より七十五本のご奉納を頂き盛り上がりの中無事終了いたしました。



春季 例大祭 のご案内

平成二十七年春季例大祭を左記の通り斎行いたします。

ご家族、お仲間同士お誘い合わせの上、多数ご参列下さいますようご案内申し上げます。

記

宵宮 祭 五月七日（木） 午後六時

例大祭 五月八日（金） 午前十一時

（各日とも、祭典後直会がございます。）

◎ご参列の方は、四月二十五日までに係（和田）までご連絡下さい。

（七日） 秋田舞

（八日） 浦安の舞



三吉梵天祭

祭の華となる村梵天には、今年から3町内が加わり、計16町内による激しい先陣争いが繰り広げられました。

